

郡山普及だより Yes! 農!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部
住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1
TEL:024-935-1321 FAX:024-935-7030

おめでとうございます。宗像実さん・洋子さん 第62回福島県農業賞受賞!!



知事とともに



畜舎で世話をするご夫妻

郡山市中田町で酪農と水稻の経営を行っている宗像実さん・洋子さんご夫妻が、第62回福島県農業賞（経営改善部門）を受賞されました。

県内でも先駆けて行った牛群検定を40年以上継続し、24頭の乳牛を一頭ごとに細やかな飼養管理を行い、徹底した衛生管理によって高品質な生乳生産を行っています。その結果、連続で、福島県酪農業協同組合より福島県乳質改善優良組合員表彰を受け、平成28年、令和3年には最高賞である最優秀賞を受賞されました。

また、後継者は、地域の飼料作物生産組織である「中田コーンサイレージ生産組合」に所属し、耕作放棄地の解消により自給飼料を確保し、さらに堆肥を耕種農家へ供給する耕畜連携を図っています。

さらに、宗像実さんは自ら酪農に携わりながら、この6月まで福島県酪農業協同組合の代表理事組合長の要職に就き、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症まん延下、福島県の酪農を牽引してきました。

長年の徹底した個体管理による高品質生乳生産と福島県酪農の発展に寄与されたご努力とご尽力により、栄えある福島県農業賞の受賞となりました。

宗像実さん洋子さん 誠におめでとうございます。

収入保険、園芸施設共済に加入しませんか？

生産者の皆さん!何かあったときの備えはできていますか？
「収入保険」、「園芸施設共済」の加入をお勧めします！
詳しくはお近くの農業共済組合までお問い合わせください。



収入保険HP
(NOSAI 福島)

米価下落に伴う営農相談窓口を設置しています。詳しい内容は当部までご連絡ください。
(TEL024-935-1310)

特集：新規就農者 ～導く～

就農相談会を開催しました！



就農相談の様子

令和3年9月18日（土）福島県農業総合センター多目的ホールにおいて就農相談会「ふくしま・ど・真ん中 就農促進フェア」を開催しました。今回のフェアは県中地方が一体となり、地域情報や就農支援情報を紹介する「就農支援ブース」と求人情報等を提供する「求人募集・雇用ブース」の2種類の相談ブースを設けて対応しました。

就農支援ブースには市町村等8団体、求人募集・雇用ブースには農業法人等5団体が出展

し、就農希望者など約50名が相談に訪れました。

なお、農業振興普及部では新規就農を希望する方からの就農相談を随時受付し、郡山市、関係団体と連携して支援しておりますので、就農相談を希望される方は当部までご連絡ください（Tel.024-935-1310）。

「お試し就農受入法人」制度を活用しませんか？

福島県では農業に従事したい方をサポートするために、福島県内の農業法人等にて正規雇用に向け、農業基礎を学びながら農業に従事していただく支援事業を実施しています。応募できるのは、福島県内で就農することを希望し、研修期間終了後に農業法人等で雇用就農を目指す方で、実習期間は令和4年3月31日までの4ヶ月程度、応募人数は40名となっております。

事業内容の詳細については、福島県の新規就農ポータルサイト「ふくのう」の農業研修生募集をご覧ください。



就農研修生募集ポスターとふくのうのサイト

特集：新規就農者 ～育てる～

新規就農者へのフォローアップや郡山農業塾を開催しています



第2回研修会の様子（農作業安全編）

当部では、今年度、新規就農者の継続したフォローアップや農業の基礎的な知識を習得する研修会「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」を開催するなど、農業担い手の確保・育成に向けた取り組みを重点的に行っています。

フォローアップでは、就農から5年程度の新規就農者42名を対象に、全職員により、定期的な巡回やSNS等を活用しながら、病害虫の対策や計画的な作業、土づくり等への助言や指導をしています。今後も、栽培技術や経営改善

等、それぞれの課題解決や経営の安定に向け、新規就農者とともに考え、それぞれの夢や経営目標の実現につながるよう、きめ細く支援してまいります。

研修会は、新規就農者だけでなく就農希望者も対象に開催しており、第1回は、病害虫の基礎と防除について、実物や写真を交えながら理解を深めました。第2回は、農作業安全について、依然として多い農作業事故の現状や対策についての講義と、刈払い機やトラクターの点検のポイント等について学びました。各回ともに、多くの質問が出され、有意義な研修会となりました。

第3回以降は、フォローアップで明らかとなった課題や、各研修会のアンケート結果から要望の多かった内容について、以下の研修会を予定しています。

詳細は当部までご連絡ください（Tel024-935-1321）。



「ひとつ、ひとつ実現する郡山農業塾」受講生募集！

※ロゴマークは農業振興普及部の職員がデザインしました。

今後の研修会（予定）

※欠席された方へは期間限定で動画配信を予定しています。

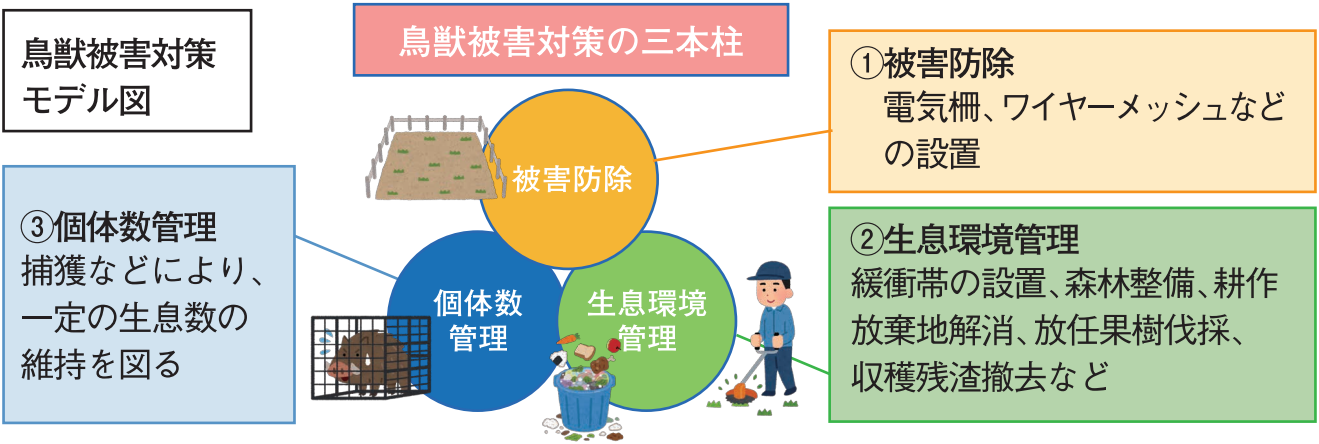
	研修内容	講師	開催日
第3回	深澤先生に聞く これだけは知っておきたい 税のこと	株式会社深澤会計 代表取締役 深澤広守氏 (普及指導協力委員)	令和3年 12月2日(木)
第4回	県中地方園芸振興セミナー ～きゅうりの安定生産を 目指して～	岩手県農業研究センター 岩舘康哉氏 他	令和3年 12月17日(金)
第5回	GAPの概要と実践の ポイント(案)	未定	令和4年1月頃
第6回	食材として郡山農産物に 期待すること(案)	・指導農業士 鈴木光一氏 ・日本調理技術専門学校 学校長 鹿野正道氏 (普及指導協力委員)	令和4年2月頃

まずはワンチェック(始業前点検)、ワンアクション(ベルト・ヘルメット着用)で農作業安全

県中農林事務所からのお知らせ

鳥獣被害対策は総合的な対策が必要です！

県内の農作物における鳥獣被害の半分以上は、イノシシ被害によるものとなっています。これまでの事例から、捕獲などの個体数管理だけでは被害はなくなりません。複数の対策をバランス良く組み合わせて、総合的に実施する必要があります。被害対策の三本柱は、下記の図の通りです。



これらを集落ぐるみで、継続的に鳥獣被害対策に取り組みましょう。

現在、郡山管内では田村町田母神地区に鳥獣被害対策のモデル集落を設置し、被害対策の実証等を行っています。

鳥獣被害対策への問い合わせは、当部までご連絡ください (Tel024-935-1321)。

ふくしま。GAP チャレンジ推進中！



郡山市内では、現在水稻、果樹、野菜類などで13件が、第三者認証GAPを取得しています。また、近年、GAP認証取得農産物は、大手スーパー等での取り扱いが増えています。GAP認証に興味のある方は、当部までご連絡ください。(Tel024-935-1321)

日本なしの落葉処理をしましょう！

落葉処理を実施することで、春先の日本なしの黒星病の発病を抑えることができます。郡山管内でも実証ほを設置し、効果があることが確認できました！

落葉を園地外に持ち出するか、乗用モア等を用いて粉碎処理することで効果があります。2月頃までに実施していただくと効果がありますので、是非実施してみてください。

詳しい内容に興味のある方は、当部までご連絡ください。(Tel024-935-1321)



落葉処理実施後のほ場

主食用米から飼料用米に転換しましょう。